

オーラルセッション [2日目] 6月26日回 第3会場(Room 157)

9:20~10:10 [実践(家族看護の役割)] 座長: 藤野 崇 近畿大学医学部附属病院

0-21 死別を体験する家族にかかわる看護師の意識

○山本 潤
ベネッセスタイルケア

0-22 大学で家族看護学を学ぶ意義

○針金 佳代子、白井 英子
天使大学 看護栄養学部 看護学科

0-23 インフォームドコンセント前に看護師と話すことによる家族満足度の向上

○小川 剛史、上 真由美、河合 美奈、秋本 千香子
高岡市民病院

0-24 染色体検査に関する倫理調整 —レヴィンの場の理論に基づく計画的変化—

○永富 宏明、休坂 みち子
神戸大学医学部附属病院

10:20~11:10 [研究デザイン(質的な家族看護学研究)] 座長: 堀口 和子 兵庫医療大学看護学部

0-25 家族看護実践における看護師の「とまどい」の様相
—実践への志向段階に焦点を当てて—

○櫻井 大輔
独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立足柄上病院

0-26 NICUに入院している子どもの母親の親としての実感に関する研究

○天内 由貴子
青森県立中央病院

0-27 乳幼児健康診査における保健師の問診に対する母親の満足感

○村上 久恵¹⁾、門間 晶子²⁾
¹⁾京都市中京保健センター、²⁾名古屋市立大学看護学部

0-28 機能障害を来した患者の退院支援における看護師の家族への関わりに関する研究

○柏木 ゆきえ
日本赤十字秋田看護大学

13:00～13:50

〔研究デザイン(質的な家族看護学研究)〕

座長：流郷 千幸 聖泉大学看護学部

0-29 ICUにおけるDNRの代理意思決定をおこなった家族の支援

○福永 まゆみ^{1,2)}、中谷 久恵²⁾

¹⁾島根大学医学部附属病院、²⁾島根大学医学部看護学科

0-30 A型食道閉鎖症の児が根治術を受けるまでの在宅生活での母親の思いへの対処行動

○西川 葵¹⁾、高橋 朋味²⁾、平山 五月¹⁾、久山 成子¹⁾

¹⁾NHO 岡山医療センター、²⁾津山中央病院

0-31 A型食道閉鎖症の児が根治術を受けるまでの在宅生活での母親の思い

○高橋 朋味¹⁾、西川 葵²⁾、平山 五月²⁾、久山 成子²⁾

¹⁾津山中央病院、²⁾NHO 岡山医療センター

0-32 口唇口蓋裂患児を育てている母親の困難な出来事とレジリエンス

○新田 紀枝¹⁾、池 美保²⁾、熊谷 由加里²⁾、西尾 善子²⁾、石井 京子³⁾、藤原 千恵子¹⁾

¹⁾大阪大学大学院 医学系研究科保健学専攻、²⁾大阪大学歯学部附属病院、³⁾大阪市立大学大学院看護学研究科

14:00～14:50

〔研究デザイン(量的研究、ミックス法・トライアングレーションによる家族看護学研究)〕

座長：二宮 啓子 神戸市看護大学

0-33 高年初産婦が持つ、パーソナルネットワークの構造特性

○安部 真紀

大分赤十字病院

0-34 網膜芽細胞腫の子どもを持つ家族の会「すくすく」の活動特性

○井上 玲子

国際医療福祉大学 小田原保健医療学部

0-35 K市子育て支援事業に参加した母親のインターネット利用と育児困難感との関連性

○井田 歩美^{1,2)}、合田 典子²⁾、片岡 久美恵^{2,3)}、猪下 光²⁾

¹⁾関西福祉大学 看護学部、²⁾岡山大学大学院保健学研究科、³⁾山陽学園大学 看護学部

0-36 小児白血病児の家族システムユニットの変化：メタエスノグラフィーを用いた質的研究のメタ統合

○小林 京子、上別府 圭子

東京大学大学院 医学系研究科